

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	KID ACADEMY PERSONAL新大阪校		
○保護者評価実施期間	2025年11月12日		～ 2025年11月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	8
○従業者評価実施期間	2025年11月12日		～ 2025年11月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○訪問先施設評価実施期間	2025年11月12日		～ 2025年11月25日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月1日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門的な助言や連携	その場でご質問への答えが難しい場合には、一度事業所に持ち帰って各専門職員やスタッフ間でどのようにしていけばいいのかを検討して、次の訪問機会の際にお伝えするようにしています。	家庭や学校や園との連携用にマンスリーレポートを毎月用意しています。
2	ご負担にならないよう配慮した訪問体制	保育や授業の邪魔にならないように事前に先生方とどのような形で訪問をするべきかの事前確認を行うようにしています。	引き続き学校や園と相談して、ご利用のお子様だけでなくその場にいるどのお子様にとっても訪問者が来ることで妨げにならないような雰囲気づくりを目指します。
3	児童発達支援や放課後デイサービスとの連携	多機能型事業所の強みとして、訪問に行っているお子様の療育に直接関与できる体制を作っております。保育所等訪問と児童発達支援、放課後等デイサービスを連携させることにより、より専門的な現場に即した環境を提供していきます。	訪問指導員だけでなく、放課後等デイサービスと児童発達支援のスタッフとも共有し、一貫した支援ができるようにさらに努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援回数の充実	訪問支援員としてお伺いできる時間が限られております。	訪問支援員の活動時間を少しでも確保できるよう、体制や時間の工夫などを行っていきます。
2	訪問支援職員の専門的スキルの充実さ	専門職員が訪問指導員と同行できる体制を整えることが、現状では難しい状況もあります。	今後も訪問支援職員の専門性向上に向けて、継続的な研修や情報共有の機会を設けてまいります。
3			